

# エコイベント マニュアル



福山市

## 目 次

環境にやさしいイベントをしよう

エコイベントの計画をたてよう

ごみを減らそう

リデュース・リユースに関する取組み

リユース食器を利用する

その他

リサイクルに関する取組み

ごみを分別する

( 1 ) 準備するもの

( 2 ) ごみ分別に関する取組み( ごみステーション設置等 )

( 3 ) 分別回収するごみの種類 ( 参考 )

( 4 ) 引取り先

2 0 0 6 福山ばら祭での取組み

他にも考えてみよう

イベントで利用する物品

交通

資源・エネルギー

## 環境にやさしいイベントをしよう

今までの社会は、物的な豊かさや便利さを求め「大量生産、大量消費」を行ってきました。「大量生産、大量消費」型社会は、ごみ問題や地球温暖化などの様々な環境問題の原因になっています。

そこで、限りある資源を大切にす「循環型社会」への移行が必要となっています。この「循環型社会」を作るためには、一人一人に環境に配慮した行動が求められます。

現在、様々なイベントが各地で行われていますが、イベントを開催する場合においても同様に、環境に配慮した行動が求められています。イベントは、参加者やその地域に活力を与える一方で、大量のエネルギーや資源を消費し、環境に大きな負担をかけています。

そこで、環境に配慮したイベントにしたいという皆さんのためにエコイベントマニュアルを作りました。いくつかの例をのせてあるので、参考にしつつ工夫して無理のない楽しいエコイベントにしていいただければと思います。

## エコイベントの計画をたてよう

エコイベントを実施する場合には、「3R」の考え方が重要です！この考え方をふまえて、計画をたてましょう。

「3R」とは・・・

ごみの出ない循環する社会をつくるためのキーワードです。

「3R」とは、Reduce(リデュース：ごみを減らす)、Reuse(リユース：くり返し使う)、Recycle(リサイクル：資源にする)の頭文字をとったものです。

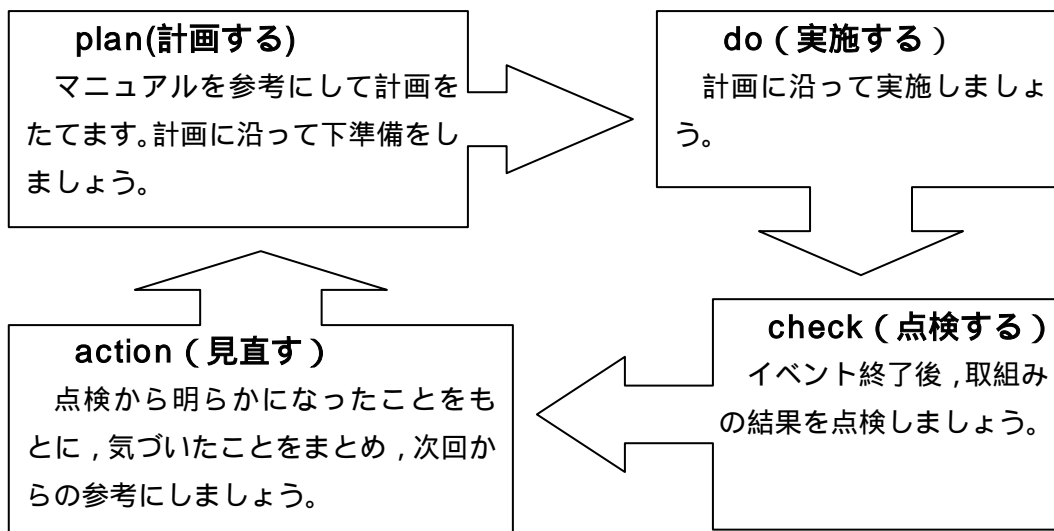
この「3R」では、順序が大切です。まず、ごみをなるべく出さないように心がけます(リデュース)。その上で、くり返し使える物は何度も使います(リユース)。そして、それでもごみになってしまうものは、資源化しましょう(リサイクル)。

計画の段階で、きちんと取組み項目を決めておきましょう。無理をせず、出来ることから取組みを始めましょう。

イベントの実施運営に関わるすべての人(主催者やボランティアなど)に取組み内容とその目的について伝えておきましょう。しっかりとした運営体制を整えておくことが大切です。

参加者に対しては、ポスター、チラシ等の事前広報で取組みについて伝え、理解をしてもらいましょう。

### <エコイベント取組みの流れ>



## ごみを減らそう

イベントを行うと様々なごみが出てしまいます。ごみを出来るだけ出さないようにし(リデュース), 再び使えるものは使い(リユース), ごみとなってしまったものは出来るだけリサイクルするにはどうすればよいのかを考えてみましょう。

### <知っておこう!>

例えば, 使い捨て容器が, リサイクルされる場合には新たなエネルギーが必要となります。環境に与える影響を考えると, リデュース(ごみの発生抑制)や, リユース(再使用)の方が, リサイクルより優れているということになります。

## リデュース・リユースに関する取組み

### リユース食器を利用する

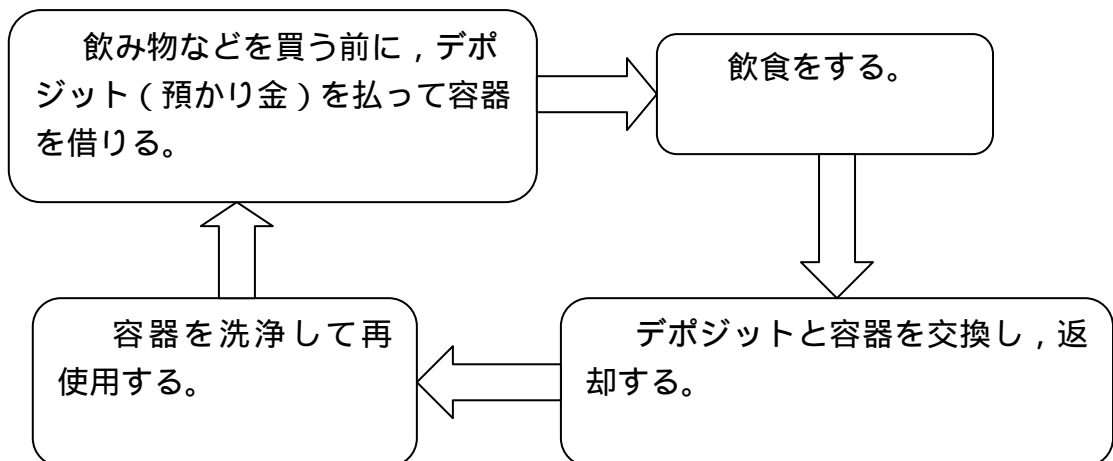
マイはしなどの持参を呼びかける方法

持参し, それを使用した来場者への特典があるとよいかもしれません。

リユース食器を借り, 洗ってくり返し使う方法

リユース食器を使う場合には, 食器の使い捨てなどを防ぐためにもデポジット制(食器を返却するといくらかお金を返す制度)を採用するとよいでしょう。

### <参考> リユース食器システムの流れ(デポジット制を取り入れる場合)



### リユース食器を利用する場合

事前に出店者やイベントスタッフにきちんと説明をし、理解してもらいましょう。来場者に対しては、事前に周知しておくとともに、当日も分かりやすい表示を心がけましょう。写真や絵を入れた表示など、様々な工夫をしましょう！！

## その他

- ・ マイバッグ（各自で袋を用意する）を呼びかけます。
- ・ 定期的に催すイベントで使う看板やのぼり、ごみ回収箱などの物品は次のイベントにも使えるようなものを使用します。
- ・ チラシ、ポスターなどの印刷物は、必要な数をよく確認し余らないようにします（実際に使った印刷数の部数を記録しておくとし、次回の参考になります）。
- ・ 記念品などがある場合には、出来るだけ簡易包装を心がけます。

## リサイクルに関する取組み

どうしても出てしまうごみは、出来るだけリサイクルできる方法を考えてみましょう。また、リサイクルできないものを廃棄する場合には、適正に処理しましょう。

### ごみを分別する

一度出されたごみを分別するのは、多大な労力がかかります。ごみステーションを設置し、きちんと分別したうえでリサイクルします。

### ポイント

- ・ 会場内にごみステーションを設置し、来場者に分別を呼びかけます。
- ・ 原則としてごみステーション以外にごみ箱は設置せず、既存のごみ箱も原則使用禁止とします。
- ・ 販売や飲食のないイベントは、ごみ箱は設置せず、ごみは持ち帰ってもらいます。

## ( 1 ) 準備するもの

ごみステーション用テント	雨天時や直射日光を避けたい時に便利です。
ごみステーション用長机	小型のごみ箱を置くなど、あると便利です。
ごみ回収箱	分別の種類に合わせて用意します。 食べ残し、飲み残しには、ざるに乗せたバケツを用意します。食べ残しを落とすゴムべら等があると便利です。
分別表示	種類ごとに表示を用意します。また、リサイクルできるものは、リサイクル後にどうなるのかを表示したパネルのようなものを近くに置いておくのもよいでしょう。
ゆすぐための水	缶やペットボトル等は軽くゆすぎましょう。 簡易の洗面台があると便利です。
手洗い用の水	手洗い場が近くにない場合は用意しておきましょう。
ふきん	机の上をふきます。ティッシュは出来るだけ使わないようにしましょう。
のぼり、看板	ごみステーションだと分かるように目立つものを設置します。
台車	ごみ等を運ぶのに便利です。
はかり、筆記用具	ごみの重さをはかり、記録しておきましょう。
スタッフ証等	来場者が、スタッフをすぐに認識できるようにしておきましょう。

## ( 2 ) ごみ分別に関する取組み ( ごみステーション設置等 )

### 事前準備

ごみステーションの設置場所・数の決定

イベントの規模を考慮して設置数を決めます。そして、飲食場所や人の流れ等を考慮して設置場所を決めます。

分別するごみの種類と引取り先の決定

発生するごみを想定して分別の種類を決め、それぞれの引取り先と協議をします。

## スタッフの確保

ステーションの規模や分別の種類にもよりますが、ステーションに分別指導員を配置します。事前に、スタッフと十分な打ち合わせをしておくことが大切です。

打ち合わせの際に、みんなで環境について学ぶ機会を設けることも効果的でしょう。

## 来場者への周知方法の検討

チラシ等により事前にお知らせしておきます。当日は、会場内での看板等により来場者に周知しましょう。

## イベント当日

### 設置準備

- ・ テントを設営し、回収箱を並べて表示を取り付けます。
- ・ のぼりや案内看板などを設置します。

### イベント開始後

- ・ ごみを出しに来た人への声かけや指導を行います。出来るだけ本人に分別してもらうようにしましょう。

楽しく環境に配慮したイベントにするために工夫しましょう  
昨年のイベントにおけるごみ減量や分別に関する取組みの写真を展示します。  
踊りや劇でごみの減量や分別を呼びかけるなど工夫をします。

## 終了後

- ・ 回収したごみの量を量りましょう。(次回からの参考になります。)
- ・ 汚水は下水道に流すなど、適正に処理をします。
- ・ 備品等を片付け、撤収します。



### ( 3 ) 分別回収するごみの種類 ( 参考 )

引取り先やイベント開催地の市町村により処理のしかたが異なる場合がありますので、事前にしっかり確認をしてください。

分別の種類	回収時の処理のしかた	リサイクル又は処分方法
アルミ缶	軽くゆすぐ。	アルミ原料
スチール缶	軽くゆすぐ。	製鉄原料
ペットボトル	ラベルとふたを取り除いて、ゆすぐ。	衣料、ペットボトルなどプラスチック原料
プラスチック ( 容器包装プラスチック )	軽く水洗いする。	リサイクル ( 洗っても汚れが落ちないものは、燃やせるごみへ。 )
燃やせるごみ ( 食べ残し・飲み残し・ストロー・竹串など )	食べ残しなどは、固形物と水分に分ける。	* 固形物は R D F に加工され、燃料として使われます。水分は、下水道に流すなど適正処理をします。

\* R D F = ごみ固形燃料

福山市では、燃やせるごみをごみ固形燃料工場で、R D F ( ごみ固形燃料 ) にしています。ごみ固形燃料は、福山リサイクル発電所で、発電用の燃料として利用されます。



#### (4) 引取り先

資源回収業者に持ち込むか引き取ってもらい、リサイクルをします。

福山市資源回収登録業者一覧

2007年4月1日現在

名称	所在地	電話番号
岡田正作	駅家町近田101	976-2110
(有)岡村商運	東深津町二丁目14-5	926-9036
(株)カワコ	芦田町下有地1290-3	958-3965
奥江商店	昭和町6-12	922-0402
落合商店	春日町六丁目18-24	943-2381
(有)開地商店	千田町二丁目1-29	955-0129
鎌倉商店	神村町155-8	934-6794
(株)神掃社	神辺町西中条826-1	967-1666
木本商店	神辺町川北974-3	963-3861
蔵田商店	港町一丁目14-20	922-3569
(有)グリーン清掃	南松永町三丁目9-35-2	934-7200
三宝商店	神辺町上御領307-1	966-0518
しまなみ空缶リサイクルセンター	神村町3421-1	939-8098
合資会社 じゅんかん	千代田町一丁目14-29	981-2977
(有)ゆんクリナー	川口町一丁目17-28	953-0862
竹田商会	南本庄三丁目5-39	923-4370
(有)武山商店	本庄町中一丁目34-22	925-1309
(株)西原資源	曙町六丁目15-1	981-3933
平山商店	鞆町後地382-5	982-1786
(株)備後総業	神辺町西中条826-1	967-1662
富士屋商店	南本庄二丁目11-2	922-0585
ふなばた商店	春日町五丁目12-17	943-0831
(株)丸總商店	曙町四丁目2-14	953-2288

上記以外の資源回収業者もあります。電話帳でご確認ください。

詳しくは各業者へ直接お問い合わせください。  
イベント開催地の市町村により、ごみ処理の取扱いは異なりますので、各市町村へお問い合わせください。

#### リサイクル業者に頼めなかったごみについて

- ・ごみ処理施設に自己搬入する（搬入できないものもあります）。  
原則として、有料での引取りとなります。

名称	所在地	電話	取り扱い品目
福山市ごみ固形燃料工場	箕沖町 107-7	957-4866	燃やせるごみ
福山クリーンセンター	箕沖町 107-2	954-4170	容器包装プラスチックごみ, 不燃(破砕)ごみ
福山リサイクルセンター	箕沖町 56-1	954-1188	アルミ缶, スチール缶, びん

- ・ごみ収集運搬業者（一般廃棄物収集運搬許可業者）と契約する。  
詳細については、電話帳などでご確認のうえ、直接業者にお問い合わせください。

## 2006福山ばら祭での取組み

〔ばら祭実行委員会主催〕

ごみゼロを目指して、みんなの力を合わせました！！

### 事前準備

#### 事前の学生ボランティアなどへの説明会や環境学習会

当日の役割に応じた事前の説明会を開きました。例えば、ごみ分別の種類やどのように参加者に分別をしてもらうのかなどを研修しました。この段階で、取組み内容とその目的を理解してもらい、きちんとした運営体制を整えておくことが大切です。

### イベント当日

#### 分別ナビゲーター隊

ばら祭各会場の分別ステーションの管理や来場者への分別指導などを行いました。



#### アースレンジャー隊（PR隊）

各ステージで寸劇でのごみ分別、ごみゼロへの取組みPRをしました。

#### クリーン・パトロール隊

分別ステーションへの案内や、各ステーションの分別物を集積所に宣伝リヤカーで搬送しました。

#### 洗い隊

割りばしやプラスチックごみを洗浄しました。

### エコトレイの利用

再資源化しやすいように、エコトレイ（内側に汚れを防止するフィルムを取り付けたトレイ容器）を利用しました。出展業者にエコトレイでの販売徹底をよびかけました。

### マイ箸・デポジットカップ

マイ箸やデポジットカップを使って飲食した人には、抽選で食事券などが当たるイベントを展開しました。

### ごみ分別後の流れ

#### 100%のリサイクルに成功！！

市内外の業者と連携して、会場から出たごみ約4.4トンを全てリサイクルしました。

ごみ種	分別後の流れ
残飯	生ごみ処理機で堆肥化
P&Pトレイ	トレイとして再生
缶・ペットボトル	リサイクル
割りばし	洗い隊が洗って、再生紙に加工
プラスチック	トレイとして再生
P&Pトレイの汚れたフィルム	RPFに加工され燃料として使用
汚れの取れないプラスチック	RPFに加工され燃料として使用
竹串、紙コップ、紙容器など	RPFに加工され燃料として使用

## 他にも考えてみよう

他にどのようなことが工夫できるのか考えてみよう！

### イベントで利用する物品

出来るだけ環境に配慮したものを選びます。

- ・再生紙や再生プラスチックなどのリサイクル製品を選びます。
- ・分別・リサイクルしやすい製品を選びます。
- ・ポスターやチラシは出来るだけ古紙配合率が高いものや白色度が低いものを選びます。
- ・場内での販売・配布物は、出来るだけ環境に配慮したものを選びます。

### 交通

イベントを行う場合、来場者などが移動するときに利用する交通手段によっても影響があります。

会場を決めるときは、公共交通機関を利用しやすい場所を選びます。

来場者には、公共交通機関の利用や車の相乗りなど、出来るだけ環境負荷の低い交通手段での来場を呼びかけます。

駐車場内では、駐車場の看板に掲示するなどして、アイドリングストップを呼びかけます。

### 資源・エネルギー

会場内の照明や空調の温度設定は、環境に配慮して使用します（夏季の冷房温度は 28 度、冬季の暖房温度は 20 度が目安です）。

イベントで使用する食材などは、できるだけ地元で生産されたものを購入します。輸送にかかるエネルギー消費を軽減できます。

